



神戸女子大学附属高倉台幼稚園



神戸女子大学附属高倉台幼稚園は昭和48年（1973年）4月に創立された神戸女子大学の附属幼稚園です。「やさしい心もち、主体的に行動する子ども」を育てることを教育目標に掲げ、自主・自立・協同・感謝の精神を養い、豊かな情操の素地を培い、思考力・想像力の芽生えを助け、人間形成の基礎を築くことを目的としています。

附属幼稚園として、文学部教育学科、家政学部管理栄養士養成課程、看護学部看護学科、神戸女子短期大学の学生の実習や大学の教員の幼児教育研究に協力しています。また、地域の皆様や保護者の子育ての教育相談も行い、子育ての支援の拠点としての役割も果たしています。

「にこにこクラブ」修了式

平成31年3月11日（月）に幼稚園に入園前、未就園児のお子さんを保育し、子育てを支援する「にこにこクラブ」の修了式を執り行いました。

平成30年度は、1歳児9名、2歳児39名、3歳児5名の計53名の幼児が修了の日を迎えました。

半年間は保護者の方と一緒に来ていた子どもたちも10月以降はひとりで通園して遊ぶことができるようになりました。

修了式では、小林 美佐子園長（当時）から一人ひとりに修了証とアルバムが手渡され、一年間で成長した子どもたちに保護者の皆さんも目を細めて拍手を送られていました。

式後は、幼児教育の現場で4月から活躍することが決まっている教育学科の幼児教育コースの8名の学生が子どもたちと手遊びをしました。最後に手作りのペープサートで「ともだちぐんぐん」を上演して保護者の皆さんにも楽しんでいただきました。

当日は2年生4名の学生も参加し会場の設営等に協力。手遊びや体操のサポートをして、実践的な幼児教育の技術を身につけるステップの場にもなっています。



手作りペープサートの「ともだちぐんぐん」上演後、挨拶をする学生

入園式

満開の桜の下、平成31年4月6日（土）に第47回入園式を執り行い、年少組31名、年中組5名、りす組8名（2歳児クラス）合計44名の園児が入園しました。

園児たちは式の出席者の多さに少し驚きながらも元気よく幼稚園の先生に誘導されて会場に入りました。木村 奈帆子園長の「皆さんがくるのをお兄さん、お姉さんたちと一緒に

待っていましたよ」という挨拶に目を輝かせていました。

担任の先生がにこやかに自己紹介をすると嬉しそうに見つめていました。

式の最後は、おそろいのユニフォームを着た教育学科 幼児教育コースの3・4年生7名の学生によるペープサートを使った歓迎の歌と手遊びで園児たちを楽しませました。



入園式で挨拶する木村奈帆子園長



手作りのペープサートで「おはながわらった」の手遊びをする学生



蝶々で飾った「おめでとう」の横幕を出して入園した園児を祝う学生